

情報過多の時代 情報操作が進んでいるのでは・・・
芸能化が進むテレビの声高情報に疑問



「鉄人28号」の像が設置されてにぎわう神戸 新長田の街 2009.10.4.

猛威をふるうインフルエンザ 最近「インフル」と言うそうだ。

東京の娘からの電話では「半日で劇症化する。」「子供が診察をいつでも受けられるように幾つか病院にカルテを作った」と。今度は関東が騒いでいて、関西ではまだ、感度は低いようだ。

季節性インフルエンザとかかわらぬ 年寄りは大丈夫」との今年初夏の情報が頭に残っている精か 神戸ではまだ呑気です。

でも やっぱり 半日で重症化する新型インフルエンザ 呑気には構えておられない。

いつも注意しておらねば・・・猛威をふるうインフルエンザ

振り返ると テレビに映される情報に振り回されたことにハッと気がつく。

このインフルエンザに象徴されるテレビなどマスコミ芸人のヒステリックな言葉が真の情報と映る情報過多の時代「オオカミ少年」に惑わされぬよう自分の眼をもたねば・・・。

最近 若者たちのテレビ離れが急激に加速し、その流れが中高年にも広がりつつあると聴く。

情報操作の蔭をみんなテレビに感じ出しているのでは・・・と。

「KY」の言葉がやはり「乗らないと置いてきぼりに」の時代から 確実に時代が変りつつあると。

インフルエンザ情報 初夏と今のトーンの違いと町の空気の差

身近に感じるテレビの声高情報に対する疑問です。

また、ある関西のテレビで

「JALの危機」について、少数意見として かき消されながら、こんな情報もありました。

「何で JAL 潰したらあかんの???? 凄い税金使ってまた救済。
潰したら大変 潰したら大変。 どこが大変なのかさっぱり誰も言わず、
誰が困る? 離島などの対策をきっちりすれば、誰も困らないで。
新幹線はあるし、高速道路網はまだつくるのやろ。
海外だって 新しい航空会社次々。
海外旅行だって 庶民は安売りの海外航空会社 ANA もある。
飛行機会社なんて 潰してから考えても 困る人は金持ちだけや
勿論 離島などの対策 考えなあかなが・・・ 」と。

正論と思うのですが、仲間のない論はかき消されがち。

一般人からすれば、これが政治の本筋ではないか・・・と。

「大げさにさわぐマスコミ芸人」「少数派」と「情報操作に走る人」

さあ どうなるのでしょうか・・・